

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	全員
教科書・副読本 『精選論理国語』（数研出版）									
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを深めることができるようにする。 主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					知識・技能 定期考査 思考力・判断力・表現力 定期考査 主体的に学習に取り組む態度 課題考査・小テスト 課題の取り組み・授業の取り組み				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	① 思想 ・ 学問の政治性 隠岐さや香 ② 情報と知性 ・ メディアのテロル 山田登世子 ・ 人と共にある図書館の未来は明るい 高橋真太郎 ・ 図書館と「ものがたり」 嶋田学 ③ 考えの表出 ・ 人はなぜ働かなくてはならないのか 小浜逸郎		・ 意味段落ごとの内容を正確に押さえ、本文全体の論旨の理解につなげる。 ・ 主張とその前提について理解する。 ・ 比喩表現や言い換え表現により意味するところを明確にし、文脈を丁寧に把握する。 ・ 文脈をたどることで、筆者のメディアに対する論を理解し、メディアとの向き合い方を考え、発表する。 ・ 二つの文章を読み、筆者の主張を比較し、さまざまな視点を理解する。 ・ さまざまな仮説と検証を経て、筆者の主張を導く論理展開を把握する。 ・ 筆者の主張を通して、労働の意義や社会のありようを考え、発表する。						
	④ 環境と人間 ・ 意志と選択 國部功一郎 ・ 環境と心の問題 河野哲也 ⑤ 思索の深化 ・ 顔の所有 鷺田清一 ・ 無常ということ 小林秀雄		・ 言い換え表現を手がかりにすることや各段落の関係を的確に把握することを通して、抽象的な思考の筋道を明らかにする。 ・ 「意志」と「選択」の違いを把握し、筆者の主張をまとめる。 ・ 起承転結の構成を把握し、各段落の要旨と段落どうしのつながりを押さえ、筆者の近代科学に対する批判的主張を理解する。 ・ 筆者の主張を踏まえ、近代科学に対する考えを発表する。 ・ 現象学的な思考に裏打ちされた難解な文章に向き合うにあたり段落ごとのキーセンテンスを見出し、論の展開を押さえ、筆者の主張を理解する。 ・ 一つ一つの表現を丁寧にたどり、筆者独特の表現や論の展開を学ぶ。						
3 学期	⑥ 考えの表出 ・ 「安楽」への全体主義 藤田省三 ・ 本歌取り 長田和宏		・ 抽象的な表現が意味する内容を読み取り、変容する社会とそこに生きる人間に対する筆者の深い洞察を把握する。 ・ 「不快の素を無差別に一扫」しようとする現代社会についての考えを深め、発表する。 ・ 例と論の関係性を踏まえながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 模倣と創造という芸術のありかたについて考えを深める。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的 に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】3学年全員
----------------	---

教科	国語	科目	古典探究	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC
教科書・副読本		『古典探究』（第一学習社）、『高校生の古典文法』（京都書房）、『Key & Point わかる・読める・解ける古文単語330三訂版』（いっずな書店）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 古典を読むために必要な国語の知識や技能を身に付ける。						知識・技能 定期考査			
思考力・判断力・表現力 古典作品の内容理解を深め、考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。						思考力・判断力・表現力 定期考査			
主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						主体的に学習に取り組む態度 課題考査・小テスト 課題の取り組み 授業の取り組み			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	去来抄 「行く春を」		- 基本的な文法事項を確認しながら、本文の読解を進める。 - 松尾芭蕉とその門人たちの、句作をめぐる具体的な苦心や理念を読み取り、俳諧に対する理解を深める。						
	無名抄 「深草の里」		- 歌論において、和歌に対する多様な考え方の一端に触れ、和歌の評価基準を理解する。 - 和歌に関する基本的な事項を押さえる。						
	諸家の文章 「漁父辞」		- 句法を正しく理解し、読解力を深める。 - 登場人物の発言からそれぞれの考え、生き方を理解する。						
	たまきはる 「建春門院の夢」		日記文学の形式、内容を的確に捉え、作品の成立背景を踏まえ解釈を深める。						
	源氏物語 「夕顔の死」		2学年で学んだことを踏まえ、『源氏物語』への興味・関心を高める。 - 敬語の用法を習熟し、人物関係の理解を深めるとともに、心理描写の巧みさを捉える。						
	韓非子 「侵官之害」		2学年で学習した「論語」を踏まえ、法家の文章を読み、古代中国の思想についての理解を深める。						
2学期	更級日記 「門出」		基本的な文法事項を確認し、口語訳を丁寧におさえる。作者が晩年になってまとめられた自伝的日記の特徴をつかむ。						
	平家物語 「能登殿の最期」		軍記物語を読み、登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。						
	史記の群像 「管鮑之交」		- 文章の構成や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 - 時代背景をおさえ、敵味方に分かれた友情の顛末を読み味わい自分のものの見方や考え方を深める。						
	諸家の文章 「売柑者言」		書き手の考え方や目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現方法を理解する。						
3学期	堤中納言物語 「はいずみ」		- これまでの学習を踏まえ、物語のおもしろさ、登場人物の魅力を楽しむ。 - 話の展開において、和歌の役割や意義を確認する。						

	雨月物語 「浅茅が宿」	・近世に生まれた新たな文芸を読み、語彙や表現に慣れるとともに、文章に表れた価値観を通して考えを深める。
--	----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ ●３年１月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】３学年（文系・国際教養コース）
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考查は実施しないこととする。 【評価母集団】3学年（理系）
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ ● ３年１月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】３学年（文系・国際教養コース選択者） ２学年において選択した者は、継続して必ず履修すること。
----------------	---

教科	国語	科目	発展国語	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本									
育成する資質・能力					評価の方法				
・ 知識・技能 ・ 多様なジャンルの現代文や古典作品を読むために、必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・ ・ 思考力・判断力・表現力 ・ 筆者の論の展開方法や古典作品の表現を理解することで、視野を広げ、文章を読解する力、表現する力を養う。 ・ ・ 主体的に学習に取り組む態度 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、日本の文化や自己自身についての理解を深める。 ・					・ 知識・技能 ・ 定期考査 ・ ・ 思考力・判断力・表現力 ・ 定期考査 ・ ・ 主体的に学習に取り組む態度 ・ 小テスト ・ 課題の取り組み ・ 授業の取り組み				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	評論文を読む		・ 評論文とは何か。その定義を確認し、その読解に必要なスキルを演習を通して学ぶ。						
	小説を読む		・ 小説とは何か。その定義を確認し、その読解に必要なスキルを演習を通して学ぶ。						
	古典を読む		・ 文法、句法を復習しながら、古典作品を読み進める。						
2 学期	評論文を読む		・ 段落相互の関係や対比、具体と抽象などの観点から、評論文を読み解いていく。 ・ 登場人物の心情を理解するためには、会話の内容や行動、キャラクター（性格）、人物の置かれている状況を押さえることが必要であることを学ぶ。						
	小説を読む								
	古典を読む		・ 学習した和歌に関する知識を用いて、和歌の内容を把握し、人物の心情を理解する力を身につける。						
3 学期	評論文を読む		・ 論の展開をおさえ、筆者の主張を把握し、自己の考え方を深める。						
履修条件・ 注意事項等		【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ● 3年1月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】3学年選択者（文系・国際教養コース）							

教科	国語	科目	古典研究	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本									
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 古典の文章を的確に読解する能力を養う。古典の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 古典作品を読み、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典についての理解を深める。 主体的に学習に取り組む態度 古典作品について調べたことを発表し、作品の価値を自ら考察する。						知識・技能 定期考査 提出物 思考力・判断力・表現力 定期考査 提出物 主体的に学習に取り組む態度 授業態度 グループワーク・発表 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	和歌の修辞技巧 歌物語 『伊勢物語』 「あてなる男」 「檜垣の御」 『大和物語』 「涙にくれる恋」 など		・和歌の修辞技巧の基本的知識を理解する。 ・歌物語というジャンルへの理解を深め、興味関心を高める。 ・贈答歌を含む本文を読解し、贈答歌についての現代語訳を作成する。 ・古典作品の文脈理解における和歌、贈答歌の重要性を理解し、興味関心を高める。 ・グループの中で個の担当箇所を明確にし、個人でレポートを作成し、グループで発表する。 ・中古・中世の日記文学への理解を深め、興味関心を高める。 ・当時の結婚や恋愛のあり方、価値観を理解し、人物の心情を読み取る。 ・贈答歌を含む本文を読解し、贈答歌についての現代語訳を作成する。						
	日記文学 『更級日記』 『和泉式部日記』 『蜻蛉日記』 『十六夜日記』 など								
2 学期	『源氏物語』 第 1 部・第 2 部 『源氏物語』 第 3 部		・興味のある章段についてグループで研究・発表する。 ・個人の担当箇所を明確にして、各種資料を生かしてレポートを作成するとともに、贈答歌についての現代語訳や場面の解釈についてはグループで検討して発表する。 ・『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 ・複雑な人間関係を理解し、登場人物の心情を読み取る。 ・興味のある章段についてグループで研究・発表する。 個人の担当箇所を明確にして、各種資料を生かしてレポートを作成するとともに、贈答歌についての現代語訳や場面の解釈についてはグループで検討して発表する。 ・『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 ・複雑な人間関係を理解し、登場人物の心情を読み取る。						
3 学期	『源氏物語』 『平家物語』 諸家の文章など		・各自が興味関心のある題材を選び、贈答歌についての現代語訳を作成し、各種資料を活用してレポートを作成する。 ・作品の生まれた時代背景について理解し、そこに描かれた人物の行動や言葉を通じて現代に生きる我々のあり方を考察する。						
履修条件・ 注意事項等		【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 ● 3 年 1 月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】 3 学年選択者（文系、国際教養コース）							

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	理系
教科書・副読本		新詳地理探究(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、新編地理資料(東京法令出版) 新地理要点ノート(啓隆社)							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 具体的な地域事例を示したコラム「地域を見る目」や学習内容に関連したテーマや新しい動きを紹介したコラム「深める」を利用して、世界各地の生活文化などの様々な地理的事象やその背景を理解する態度を身に付ける。						知識・技能 定期考査 提出物 小テスト			
思考力・判断力・表現力 持続可能な社会をつくるための取り組みを示した「持続可能な社会を目指して」を利用して、生徒自身の考えを持つ力を養う。日本の事例を豊富に取り上げ、日本と世界各地の地理的事象を比較・対照して現代世界が抱える諸課題への理解を深める。						思考力・判断力・表現力 発問評価・グループワーク・発表・報告			
主体的に学習に取り組む態度 最新の世界情勢や学術動向をより深く理解し、現代の世界と日本が抱える諸課題の解決に向けて、主体的に取り組む態度を身に付ける。						主体的に学習に取り組む態度 授業態度 提出物			
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	第1部	現代世界の系統地理的考察		世界の自然環境の基礎となる地形や気候について幅広い知識と教養を身につける。 地域や気候の成り立ちに加えて、人間生活との関わりについて理解する際に自然の正の側面と負の側面の両面を比較しながら学ぶ。 自然環境と関わりが深い環境問題について、原因や分布の解説にとどまらず、解決への取り組みまでを追求する。 環境保全に向けて協力し、かつ、参画していくことの重要性を理解できるように工夫する。					
	第1章	自然環境							
	地球環境と人間								
	1節	地形							
	2節	気候							
2 学期	3節	日本の自然環境		生産や貿易などの分布図を利用し、先進国と発展途上国を対比させるなど、地域的差異を幅広く捉える。 食料や資源をめぐる問題など、現代世界が抱える課題について取り上げ、持続可能な社会を形成するために協力し、その発展に寄与する態度を養う。 国家間の結びつきや地域的な枠組みについての理解が深まるよう、最新の情勢や具体事例をもとに学習する。					
	4節	地球環境問題							
	第2章	資源と産業							
	1節	農林水産業							
	2節	食料問題							
	3節	鉱産資源							
3 学期	4節	エネルギー問題		現代世界が様々な指標によって地域区分できることに気づき、地域の概念や地域区分の意義を理解する。 世界の諸地域について、国・地域をバランス良く取り上げ、各国・地域の地形や気候などの自然環境や産業・宗教・民族・言語などの社会環境といった地理的環境から考察するための様々な視点を身につける。 日本の強みと持続可能な社会を実現するための課題を振り返り、将来の国土の在り方について、生徒自身が主体的に考える。 まとめた意見については、積極的に自治体などに提言することを踏まえて、社会参画する態度を養うよう努力する。					
	5節	工業							
	6節	第3次産業							
	第2部	現代世界と地誌的考察							
	第1章	現代世界の地域区分							
1節	地域区分の意義と指標								
第2章	現代世界の諸地域								
第3部	現代世界におけるこれからの日本の国土像								
履修条件・注意事項等		【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年理系 1月考査：全員受験							

履修条件・ 注意事項等	2年生からの継続履修である。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年選択者（文系、国際教養コース） 1月考査は実施しないこととする。
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	2 学年からの継続履修である。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3 学年選択者（文系、国際教養コース） 1 月考査は実施しないこととする。
----------------	---

教科	地理歴史	科目	発展世界史	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系選択者・L A C 選択者
教科書・副読本		詳説世界史(山川出版)、史料集、一問一答、教科書準拠ノート、問題集							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 世界史探究で学習した世界の歴史に関わる諸事象について、知識の量・質を向上させるとともに、その知識を定着、発展させ、活用する技能を養う。 思考力・判断力・表現力 世界の歴史について、史料を読み解くことなどを通して多面的・多角的に考察したり、構想、議論したりする力を養うとともに、現代の課題に対する解決力の向上を図る。 主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					知識・技能 定期考査・提出物・小テスト 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み・提出物				
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	世界史へのまなざし			・自然環境と人類の関わりについて、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。 ・各文明の成立について、地理的・文化的な共通点、相違点を理解させる。 ・東アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国に触れ、この時期の東アジア世界の形成過程を把握させる。また東アジアにおける北方民族の動向と分裂の時代、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含むこの時期の東アジア世界の形成過程を把握させる。 ・南アジア世界・東南アジア世界の地理的特質、インダス文明、アリア人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界・東南アジア世界の形成過程を把握させる。 ・西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。 ・アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。 ・ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教徒ヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。 ・内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシア諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。 ・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解し、16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する					
	第1章	文明の成立と古代文明の特質							
	第2章	中央ユーラシアと東アジア世界							
	第3章	南アジア世界と東南アジア世界の展開							
	第4章	西アジアと地中海周辺の国家形成							
	第5章	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成							
	第6章	イスラーム教の伝播と西アジアの動向							
	第7章	ヨーロッパ世界の変容と展開							
	第8章	東アジア世界の展開とモンゴル帝国							
	第9章	大交易・大交流の時代							

	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	・西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とその中での日本の位置付けを理解させる。 ・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 ・イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。またアメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。
	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	
	第12章 産業革命と環大西洋革命	
2 学期	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	・ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 ・インドの植民地化とその社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。 ・中国分割の危機と辛亥革命、インド、東南アジア、西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 ・日露戦争や韓国併合にみられる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につける。 ・第一次世界大戦から第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋にいたる戦場の広域化や核兵器の使用といった残虐行為など、戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につける。 ・帝国主義の時代からグローバル化した「世界」が成立した現代までの歴史に関する基本的な知識を身につけ、その課題から21世紀の世界を展望する。 ・世界の課題に関する主題を設定し、選択したその時代の資料を活用して探求し、表現する技能を身につける。
	第14章 アジア諸地域の動揺	
	第15章 帝国主義とアジアの民族運動	
	第16章 第一次世界大戦と世界の変容	
	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	
	第18章 冷戦と第三世界の台頭	
	第19章 冷戦の終結と今日の世界	
3 学期	地球世界の課題の探究	・問題演習・復習
	全範囲	

履修条件・注意事項等	「世界史探究」での受験を考えている生徒の受講を想定して授業を展開する。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年選択者（文系、国際教養コース） 2学期末の評定が「1」の生徒を対象に、1月考査を実施する。
------------	--

教科	地理歴史	科目	発展日本史	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本		『日本史探究』（実教出版、日探702）、『図説日本史通覧』（帝国書院）、『新詳述日本史史料集』（実教出版）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 これまで学習した我が国の歴史に関わる諸事象について、知識の量・質を向上させるとともに、その知識を定着、発展させ、活用する技能を養う。 思考力・判断力・表現力 史料を読み解くことなどを通して多面的・多角的に考察したり、構想、議論したりする力を養うとともに、現代の課題に対する解決力の向上を図る。 主体的に学習に取り組む態度 自ら課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						知識・技能 定期考査・提出物・レポート発表 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物・レポート発表 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み・提出物			
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	1 日本文化史 ・日本という国号について ・和歌に現れる日本文化 ・伝承文学から文化伝承を考える ・世阿弥の花について ・茶道の侘びについて ・浮世草子に現れる日本文化 ・廃仏毀釈について ・大衆文化について			・記紀の編纂過程から、国号の起こりを考察する。 ・和歌の始まり、仮名文字の成立の背景から平安貴族文化を考察する。 今昔物語集などの説話の伝承性と現代人の心の深層との関連について考察する。 ・世阿弥の花伝書の「はな」から、日本の伝統芸能について考察する。 ・茶道（侘茶）の成立背景から、幽玄や侘び・寂びについて考察する。 ・町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など経済の発展に着目して考察する。 近代化政策や欧米文化の導入を国民がどのように受容したか考察する。 ・近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。					
	2 日本経済史 ・律令税制と農民の負担 ・定期市の発達 ・「天下の台所」大坂 ・貨幣制度の変遷 3 日本外交史 ・日中関係史 ・日朝関係史 ・沖縄・北海道史 ・近代外交史			・史資料を読み解き、古代の農民の負担について考察する。 ・中世の商業・農業の発達について、政治・外交・社会などの視点をもって考察する。 ・大坂の発展から、江戸時代の経済・物流・諸藩の特産物について考察する。 ・本朝十二銭や撰銭令など古代～近代の貨幣制度について、政治・経済・外交と関連付けて考察する。 ・史資料を読み解き、各時代において中国と日本の外交について考察する。 ・史資料を読み解き、各時代において朝鮮と日本の外交について考察する。 ・史資料を読み解き、各時代において沖縄・北海道と日本の交流について考察する。 ・史資料を読み解き、明治維新以降の欧米及びアジア諸国と日本の関係について考察する。					

3 学 期	日本災害史	過去の災害に関する史資料を読み解き、生徒が自ら主体的に課題を設定し、地理的視点や既知の学習内容を活用して多面的・多角的に考察する。
-------------	-------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】3学年選択者（文系、国際教養コース）	
----------------	---	--

教科	公民	科目	倫理	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本		倫理（東京書籍）、アプローチ倫理資料PLUS（とうほう）、要点マスター倫理演習ノート（東京書籍）							
育成する資質・能力								評価の方法	
知識・技能 先哲や思想家の生涯や歴史的・社会的背景を明確にし、関連を理解することで、その時代ごとの倫理観念の形成についての知識の獲得を目指す。また、その知識をもとに、自らが先哲や思想家と同じ問いについて考え、探求できる技能を養う。 思考力・判断力・表現力 「人間としていかに生きるべきか」という問いへの課題探求を、先哲の思想や史料を比較して分析し、多面的・多角的に考察ができ、自分の考えを述べる力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 人間尊重の精神と人格の形成について関心を高め、先哲や思想家の考えに疑問・共感・分析を行う主体的な態度を養う。								知識・技能 定期考査・提出物・小テスト等 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 小テスト・授業への取り組み・提出物等	
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1学期	第1編 第1章 人間の心のあり方 人間とは何か／人間の心の働き			- 青年期の特徴を心理学的な定義などを通して知り、自分の行動や心理を客観的に把握する。 「生きること」の理由や意義について探求し、人間存在の特性について理解する。 - 哲学を生み出した古代ギリシャ人の精神活動や世界観を理解する。 - 先哲の思想から、人間の徳や幸福という概念を考える。 - 世界宗教についてその特色を知り、各宗教が人間に求める理想像や教義とする宗教観念を理解する。 - 中国古典思想の思想内容を理解し、その意義について考える。 - 芸術作品を通して美や芸術の概念を理解し、その意義について考える。					
	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 哲学すること／ギリシャの思想／宗教と社会／キリスト教／イスラーム／仏教／中国の思想／芸術								
2学期	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 近代と人間尊重の精神／近代思想の展開／人格の尊厳と人倫の思想／社会変革の思想／理性への疑問／人間観・言語観の問いなおし／他者と自然とのかわり			- 社会の合理化の過程としての近代社会の特質をとらえ、科学技術の発達や進歩の観念について考察する。 - 近代哲学の成立と発展について理解を深め、理性的主体としての人間の尊厳の考え方が現代にどのように生きつづけているのかについて考察する。 - 合理化の進展の側面と個人の無力感と不安を生み出した側面を対比し、倫理的な課題について考える。 - 近代において、個人と市民社会がどのようなプロセスを経て確立されたのかを理解する。 - 日本の風土の特徴から、日本人の思想の根幹を理解する。 - 日本に移入された外来思想が、時代とともに日本人の思想を変容させた過程やその内容を理解する。 - 能や茶の湯、俳諧などの文化作品から日本人の思想を読み解く。					
	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 日本人の精神風土／仏教と日本人の思想形成／儒教と日本人の思想形成／国学の思想／庶民の思想／西洋思想と日本人の近代化／国際社会に生きる日本人の自覚								

3 学 期	第2編 現代の諸課題と倫理 生命／自然／科学技術／福祉／ 文化と宗教／戦争と平和	・ 現代社会における現実の諸課題について考察し、人類のめざす方向について考える。 ・ 問題演習・復習
-------------	--	---

履修条件・ 注意事項等	共通テストで公民科目「公共」または「公共、倫理」を受験する生徒の受講を想定して授業を展開する。 【観点別評価】（知識・技能）4割：（思考力・判断力・表現力）4割：（主体的に学習に取り組む態度）2割 【評価母集団】3学年選択者（文系、国際教養コース） 1月考査は実施しないこととする。
----------------	---

教科	公民	科目	政治経済	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本		『詳述 政治経済』（実教出版、政経702）、『政治・経済資料』（とうほう）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 選択・判断の手がかりとなる概念や理論、および政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめている。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など				
思考力・判断力・表現力 政治・経済の諸課題について、事例を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。					思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など				
主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、政治・経済の諸課題を主体的に解決しようとしている。					主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1編「現代日本の政治」 第2編「現代日本の経済」 第3編「現代日本における諸課題の探求」		・ 国民主権や基本的人権の保障、平和主義など日本国憲法の基本的性格、また政治的無関心や地方自治における諸問題などについて理解を深める。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。 ・ 現代日本の経済について、市場原理や企業活動、財政や金融などにおける現代の諸課題について理解を深め、経済活動の主体としてのあり方を考える。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。						
2 学期	第2部「グローバル化する国際社会の諸課題」 第1編「現代の国際政治」 第2編「現代の国際経済」		・ 国際法の意義、国際連合の役割と組織、国際政治の動向と日本の役割、国際経済の動向や課題と国際協力の意義などについて理解を深める。主体的に追究・考察し自らのものとしようとする。 ・ グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容について、主体的に追究・考察し、国際社会における私たちの役割について考え、行動する姿勢を身につける。						
3 学期	第3編「国際社会の諸課題の探求」		・ 国際社会の諸課題について、その課題の所在や現状などについて理解を深める。諸課題について、資料を収集・選択、分析するなど主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。						
履修条件・注意事項等		【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】 3 学年選択者（文系、国際教養コース） 1 月考査は実施しないこととする。							

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	理系選択
教科書・副読本		数学Ⅲ Advanced（東京書籍）							
		PRIME 数学Ⅲ（東京書籍）							
		チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 思考力・判断力・表現力 関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりすることができる。 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物など				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	1 章	関数と極限	- 分数、無理関数とそのグラフについて理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察することができる。逆関数や合成関数の意味を理解し、それらを求めることができる。 - 数列の極限について理解し、さまざまな数列の極限を求めることができる。無限等比数列の収束、発散について理解し、これをもとにさまざまな数列の極限について考察することができる。 - 関数の極限について理解し、さまざまな関数の極限を求めることができる。三角関数の極限について理解し、これをもとにさまざまな関数の極限について考察することができる。 - 微分可能性について理解し、定義に基づいて関数の導関数を求めることができる。また、導関数の基本的な性質を理解する。積、商の導関数について理解し、それらを用いて基本的な関数の導関数を求めることができる。 - 三角関数の導関数について理解し、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。自然対数の底 e を導入し、対数関数の導関数について理解する。 - 曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。関数の値の変化を調べ、極値を求めることができる。 - 不等式・方程式からつくられた関数の最大・最小やグラフを利用して、不等式・方程式を考察することができる。						
	1 節	関数							
	2 節	数列の極限							
	3 節	関数の極限							
	2 章	微分							
	1 節	微分法							
2 学期	2 節	いろいろな関数の導関数							
	3 章	微分法の応用							
	1 節	接線、関数の増減							
	2 節	微分のいろいろな応用							
2 学期	4 章	積分とその応用	- 目的に応じて式を変形するなどして、いろいろな関数の不定積分を考察することができる。 - 定積分の基本的な性質について理解し、さまざまな関数の定積分を求めることができる。 - 定積分と面積・体積の関係について理解し、さまざまな図形の面積を考察することができる。定積分と極線の長さの関係について理解し、さまざまな曲線の長さを考察することができる。						
	1 節	不定積分							
	2 節	定積分							
3 学期	3 節	面積・体積・長さ							
	総合問題		分野を意識することなく、総合的に演習を行っていく。 （1つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する） → 過去の大学入試問題や模試の過去問演習を行う。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】３学年選択（理系クラス） ※１月考査は実施
----------------	--

教科	数学	科目	数学総合	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	理系選択
教科書・副読本		数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学C Advanced（東京書籍） メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだすこと、構想・見通しを立てることができる。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど				
思考力・判断力・表現力 目的に応じて数・式、図、表、グラフなどを活用し、一定の手順に従って数学的に処理することができる。					思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど				
主体的に学習に取り組む態度 解決過程を振り返り、得られた結果を意味付けたり、活用したりすることなどを求めることができる。					主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物など				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	数学ⅠAⅡ		下記の単元の中で、要点として押さえておきたい問題を扱う。その問題を解く際に必要となる公式や考え方を復習していく。						
			① 数と式 ② 2次関数 ③ 図形と計量 ④ データの分析 ⑤ 場合の数と確率 ⑥ 図形の性質 ⑦ 整数の性質 ⑧ 式と証明 ⑨ 複素数と方程式						
2 学期	数学ⅡBC		下記の単元の中で、要点として押さえておきたい問題を扱う。その問題を解く際に必要となる公式や考え方を復習していく。						
			⑩ 図形と方程式 ⑪ 三角関数 ⑫ 指数関数・対数関数 ⑬ 微分法・積分法 ⑭ ベクトル ⑮ 数列						
3 学期	総合問題		分野を意識することなく、総合的に演習を行っていく。 （1つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する） → 過去の大学入試問題や模試の過去問演習を行う。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】３学年選択（理系クラス） ※１月考査は実施しない。
----------------	--

教科	数学	科目	数学 C	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	理系
教科書・副読本		数学 C Advanced（東京書籍） PRIME 数学 C（東京書籍） チャート式 解法と演習 数学 III + C（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 思考力・判断力・表現力 関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりすることができる。 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物など				
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	3 章 複素数平面			● 複素数平面と、複素数の実数倍、和、差などの図形的な意味を理解する。 ● 複素数の極形式、複素数の積、商の図形的な意味を理解する。 ● ド・モアブルの定理について理解する。また、複素数の累乗根について考察することができる。					
	1 節 複素数平面								
	1 複素数平面								
	2 複素数の極形式								
	3 ド・モアブルの定理								
	2 節 図形への応用								
2 学期	1 複素数平面上の図形			● 複素数平面において、さまざまな図形を考察することができる。 ● 複素数平面における角について理解し、三角形の考察に応用することができる。					
	2 複素数と角								
	2 章 平面上の曲線								
	1 節 2 次曲線								
	1 放物線								
	2 楕円								
2 学期	3 双曲線			● 放物線の基本的な性質について理解する。 ● 楕円の方程式とその概形などについて考察し、楕円の基本的な性質について理解する。 ● 双曲線の基本的な性質について理解する。 ● 曲線の平行移動について理解できる。 ● 2次曲線と直線の位置関係について調べることができる。 ● 離心率の値と2次曲線の関係について理解する。					
	4 2 次曲線の平行移動								
	5 2 次曲線と直線								
	6 2 次曲線と離心率								
	2 節 媒介変数表示と極座標								
	1 曲線の媒介変数表示								
	2 極座標と極方程式								
	3 いろいろな曲線								
	3 学期	総合問題							

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】３学年選択（理系クラス） ※１月考査は実施しない。
----------------	--

教科	数学	科目	数学探究①	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	理文LAC選択
教科書・副読本		数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学C Advanced（東京書籍） 共通テスト分野別演習 数学Ⅰ・A／Ⅱ・B・C（Z会）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだすこと、構想・見通しを立てることができる。 思考力・判断力・表現力 目的に応じて数・式、図、表、グラフなどを活用し、一定の手順に従って数学的に処理することができる。 主体的に学習に取り組む態度 解決過程を振り返り、得られた結果を意味付けたり、活用したりすることなどを求めることができる。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物など				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	数学ⅠAⅡBC		基本的かつ平易な問題を通して、基礎的な実力を養成するとともに、大学入試共通テストでしようされるマークシート方式の穴うめ問題を中心に、まずはこの方式の解答に慣れるために基本的な典型問題を演習していく。 ① 式の計算 ② 1次不等式 ③ 集合 ④ 命題と論証 ⑤ 2次関数 ⑥ 三角比 ⑦ データの分析 ⑧ 場合の数 ⑨ 確率 ⑩ 平面図形 ⑪ 整数の性質						
	数学ⅠAⅡBC		大学入試共通テストの形式を意識した標準的な問題を通して、過去の大学入試共通テスト試験の問題を演習するとともに、大学入試共通テスト本番の形式を想定した実践的な問題も演習していく。 ① 式と証明 ② 複素数と方程式 ③ 点・直線・円 ④ 曲線と直線 ⑤ 三角関数 ⑥ 指数関数 ⑦ 対数関数 ⑧ 導関数と接線 ⑨ 最大と最小 ⑩ 不定積分・定積分 ⑪ 面積 ⑫ ベクトル ⑬ 平面ベクトル ⑭ 空間ベクトル ⑮ 等差数列・等比数列 ⑯ 種々の数列 ⑰ 数学的帰納法 ⑱ 確率分布						
3 学期	総合問題		分野を意識することなく、総合的に演習を行っていく。 （1つの分野に限定せず、問題を多角的に見られるよう指導する） → 模試の過去問演習を行う。						

履修条件・注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年選択（理系クラス・文系クラス・国際教養コース） ※1月考査は実施
------------	---

教科	数学	科目	数学探究②	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系LAC 選択者
教科書・副読本		数学Ⅰ・数学A Advanced（東京書籍） ベーシックスタイル 数学演習Ⅰ・A 受験編（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 思考力・判断力・表現力 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物など				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	数学Ⅰ 数と式		問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。						
	2次関数		2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。						
	図形と計量		図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。						
	データの分析		目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。						
2 学期	数学A 場合の数と確率		確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。						
	図形の性質		図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。						
	数学と人間の活動		数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。						
3 学期	総合問題		総合問題を解く（演習）						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年選択（文系クラス・国際教養コース） ※1月考査は実施しない。
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年選択（文系クラス・国際教養コース） ※1月考査は実施しない。
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	学校指定体操服 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】 3学年全員
----------------	--

教科	体育（専）	科目	スポーツⅡ	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本			新高等保健体育（大修館）図説現代高等保健（大修館）						
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 運動の多様性や体力の必要性について理解する能力 各運動の技能 思考力・判断力・表現力 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力 主体的に学習に取り組む態度 一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度					知識・技能 実技試験 思考力・判断力・表現力 各運動における競技力向上のための探究活動 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み グループ活動（試合形式やグループ練習）				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1・2・3 学期	体づくり運動		・自他の心と 体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法を学んだりすることができる。						
	陸上競技		・自己の課題と体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。陸上競技を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けることができる。						
	球技		・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。						
	体育理論		・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする						

履修条件・ 注意事項等	学校指定体操服 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年選択者（文系、国際教養コース）
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4 : 4 : 2 【評価母集団】3 学年理系（物理選択者） 理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「物理基礎・物理」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。 ※1 月考査は実施しない。
----------------	--

教科	理科	科目	生物	単位数	4 単位	学年	3 年	履修対象	理系選択
教科書・副読本		高等学校 生物（啓林館）セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、 ニューステージ生物図表（浜島書店）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理や法則を理解する。 思考力・判断力・表現力 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 主体的に学習に取り組む態度 観察、実験、演習を通して生物や生命現象を論理的に探究する能力と態度を育てる。					知識・技能 定期考査・小テスト・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・小テスト・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 探究課題に取り組む姿勢・提出物等				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第3部 遺伝情報の発現と発生 <u>第8章 発生と遺伝子の発現</u> <u>第9章 バイオテクノロジー</u> 第4部 生物の環境応答 <u>第10章 刺激の受容と反応</u>		配偶子形成と受精、卵割から器官分化の始まりまでの過程について学ぶとともに、細胞の分化と形態形成のしくみを理解する。 探究8 卵の中で局在している物質が発生過程における分化に影響を与えるか バイオテクノロジーの原理とその応用を見ていく。 探究9 遺伝子を扱った技術とは 外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応するしくみを学び、刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。 探究10 刺激の強さで筋収縮に変化は起こるのだろうか						
	<u>第11章 動物の行動</u> <u>第12章 植物の環境応答</u> 第5部 生態と環境 <u>第13章 個体群と生物群集</u>		神経系と関連づけられる動物の行動を主に扱うこととする。行動に生まれつきのものと学習によるものがあることを理解する。 探究11 経験や学習は行動にどのように変化をもたらすだろうか 植物の配偶子形成と受精、胚発生と種子の形成、花器官の分化について学ぶ。植物が周りの環境からの刺激に応答するしくみを学び、その際に植物ホルモンや光受容体が関係することを理解する。 探究12 何が植物の成長を調節しているのだろうか 生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。同種の個体や異種の個体が相互作用を及ぼし合っていることを理解する。また、個体群レベルから順にそれぞれの段階で繰り広げられる生物の様々な営みと、環境との関係について理解する。 探究13 個体群密度は、植物の成長にどのような影響を与えるか						
3 学期	<u>第14章 生態系</u>		生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに、生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。 探究14 人間の生活は生態系にどのような影響を与えるか						
履修条件・注意事項等			2 学年からの継続。理学部生物学科や農学部、医療看護系大学進学を考えている者は履修が望ましい。 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3 学年理系（生物選択者） ※1 月考査は実施しない。						

履修条件・ 注意事項等	理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「化学基礎・化学」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年理系 ※1月考査は実施しない。
----------------	--

教科	理科	科目	基礎生物	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本			生物基礎（啓林館）						
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けるようにする。					知識・技能 定期考査・提出物等				
思考力・判断力・表現力 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物等				
主体的に学習に取り組む態度 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等				
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	第 4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生の多様性と分布 2 章 気候とバイオーム 3 章 生態系とその保全			・植生は、年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。 ・植生は普遍的なものではなく、時間とともにその環境に適応した植物からなる植生へと変化していることを理解する。 ・観察実験 9 遷移の過程でみられる植物の観察 ・植生を基盤として、動物や微生物の集まりができるため、似たような環境には、同じような相観のバイオームが形成されることを理解する。					
	第 3 編 生物の体内環境の維持			・生態系の生物どうしは、食物連鎖でつながっており、その中を物質やエネルギーが移動していることを学ぶ。 ・炭素や窒素などの物質は、食物連鎖などを通じて、生態系の中を形を変えながら循環していることを理解する。 ・生物多様性にはさまざまな価値があるため、その保全が重要であることを理解する。					
2 学期	第 1 編 生物の特徴 第 2 編 遺伝子とそのはたらき			第 1 学年で学んだ体内環境の維持について再び学び、器官どうしの関係や生体内で起こる反応の流れなどについて理解を深める。 各編の内容を、演習などを利用し復習を行う。					
	第 3 編 生物の体内環境の維持 第 4 編 生物の多様性と生態系			各編の内容を、演習などと利用し復習を行う。					
3 学期									
履修条件・注意事項等									
【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4 ： 4 ： 2 【評価母集団】 3 学年選択者（文系、国際教養コース） ※ 1 月考査は実施しない。									

教科	理 科	科目	化学の広場	単位数	2単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選 択 者	
教科書・副読本		化学基礎（数研出版）								
育成する資質・能力					評価の方法					
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養い、物質とその変化への関心を高める。					知識・技能 定期考査・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等・提出物・小テスト等					
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第1編	物質の成り立ち			教科書の内容の復習を行う。 必要があれば適宜実験も行う。					
	1章	物質の探求								
	2章	物質の構成粒子								
	3章	物質と化学結合								
	第2編	物質の変化								
	1章	物質と化学変化								
2 学期	2章	酸と塩基			過去の入試問題を含めた総合演習を行う。					
	3章	酸化と還元								
	共通テストに向けた総合演習									
3 学期	共通テストに向けた総合演習				過去の入試問題を含めた総合演習を行う。					

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年（文系・LAC 選択者） 1月考査は実施しない。
----------------	---

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位	学年	3年	履修対象	文系・理系
教科書・副読本		『BLUE MARBLE English CommunicationⅢ』（数研出版）							
		『英単語・熟語Bricks 2』（いいずな書店）							
		『四訂版Listening Laboratory Standardβ』（数研出版）							
		『大学入学共通テストリスニング分野別10min.』（エミル出版）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 英語の文章を読み、内容を正しく理解し、自分なりの考えを持つことができる。 思考力・判断力・表現力 英語を使って自分の考えを書く、話すなどして相手に伝えることができる。 主体的に学習に取り組む態度 英語に慣れ親しむべく音読を繰り返し練習し、新出の語彙に触れて語彙力を上げるなど前向きに授業に臨むことができる。						知識・技能 定期考査・課題考査			
						思考力・判断力・表現力 定期考査 発問評価			
						主体的に学習に取り組む態度 授業態度 英単語小テスト 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	Lesson1 A Chance for Everyone to Shine		すべての人が輝くことのできる社会とは何か、国際的な視点から考察し、人権について考えを深める。						
	Lesson2 Protecting Our Brains from Smartphone		スマートフォンの使い過ぎによる弊害とその対策について考え、脳や心身に与える影響について考える。						
	Lesson3 Wrapping: Reinventing a Cultural Tradition		「包装」の文化とプラスチックごみの問題について取り上げ、過剰包装による環境への影響について考え、自分たちにできることは何か意見を持つ。						
	Lesson4 Paving the Way to a More Inclusive Society		点字ブロックの誕生の歴史と、今後の可能性を知ることで現代社会における福祉のあり方について考察を深める。						
2学期	Lesson5 Discovering Your Answers Through Art Thinking		これからの時代を生き抜くための「アート思考」について学び、芸術の観点から自己啓発につながる事例を検証する。						
	Lesson6 Super Sniffers Saving the World		動物は人間ではとても到達できないような並ならぬ能力を備えている。特に嗅覚に焦点を当てて学ぶ。						
	Lesson7 Perceptions of Time in Different Cultures		文化によって異なる時間の感覚を知り、異文化理解の重要性を探る。						
	Lesson8 The Thawing Permafrost: Earth's Warning Call		永久凍土の融解における現状を把握し、いかに深刻な環境問題であるかを理解することで自分たちにできることを考える。						
3学期	Lesson9 How We Are Influenced by Advertising		身の回りにある広告が自分たちに与える影響について知り、日常的に身の回りにあるものの持つ可能性を考える。						
	Lesson10 What Makes a Virtual Community?		現代における仮想コミュニティの台頭とその特徴を知り、今の社会のあり方を考察する。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】3学年一般クラス 3年1月考査は実施しないこととする。
----------------	---

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位	学年	3年	履修対象	LAC
教科書・副読本		『BLUE MARBLE English CommunicationⅢ』（数研出版）							
		『英単語・熟語Bricks2』（いいずな書店）							
		『四訂版Listening Laboratory Standardβ』（数研出版）							
		『大学入学共通テストリスニング分野別10min.』（エミル出版）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 英語の文章を読み、内容を正しく理解し、自分なりの考えを持つことができる。 思考力・判断力・表現力 英語を使って自分の考えを書く、話すなどして相手に伝えることができる。 主体的に学習に取り組む態度 英語に慣れ親しむべく音読を繰り返し練習し、新出の語彙に触れて語彙力を上げるなど前向きに授業に臨むことができる。						知識・技能 定期考査・課題考査 思考力・判断力・表現力 定期考査 発問評価 主体的に学習に取り組む態度 授業態度 英単語小テスト 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	Lesson1 A Chance for Everyone to Shine		すべての人が輝くことのできる社会とは何か、国際的な視点から考察し、人権について考えを深める。						
	Lesson2 Protecting Our Brains from Smartphone		スマートフォンの使い過ぎによる弊害とその対策について考え、脳や心身に与える影響について考える。						
	Lesson3 Wrapping: Reinventing a Cultural Tradition		「包装」の文化とプラスチックごみの問題について取り上げ、過剰包装による環境への影響について考え、自分たちにできることは何か意見を持つ。						
	Lesson4 Paving the Way to a More Inclusive Society		点字ブロックの誕生の歴史と、今後の可能性を知ることによって現代社会における福祉のあり方について考察を深める。						
2学期	Lesson5 Discovering Your Answers Through Art Thinking		これからの時代を生き抜くための「アート思考」について学び、芸術の観点から自己啓発につながる事例を検証する。						
	Lesson6 Super Sniffers Saving the World		動物は人間ではとても到達できないような並ならぬ能力を備えている。特に嗅覚に焦点を当てて学ぶ。						
	Lesson7 Perceptions of Time in Different Cultures		文化によって異なる時間の感覚を知り、異文化理解の重要性を探究する。						
	Lesson8 The Thawing Permafrost: Earth's Warning Call		永久凍土の融解における現状を把握し、いかに深刻な環境問題であるかを理解することで自分たちにできることを考える。						
3学期	Lesson9 How We Are Influenced by Advertising		身の回りにある広告が自分たちに与える影響について知り、日常的に身の回りにあるものの持つ可能性を考える。						
	Lesson10 What Makes a Virtual Community?		現代における仮想コミュニティの台頭とその特徴を知り、今の社会のあり方を考察する。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】3学年国際教養コース 3年1月考査は実施しないこととする。
----------------	---

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・理系
教科書・副読本		『APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅲ』（開隆堂） 『自分の力で書く大学入試英作文FINAL DRAFT』（いいずな書店） 『BrightStage英文法・語法問題』（桐原書店）							
育成する資質・能力			評価の方法						
知識・技能 各文法事項を理解し、適切に使うことができる。			知識・技能 小テスト・定期考査・課題考査 教科書のBasic Activity、Exercisesの問題を使って各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができるかを評価する。						
思考力・判断力・表現力 各活動を通じて、場面に応じたやりとりができる。			思考力・判断力・表現力 定期考査、課題考査 発問に対する返答、発表 教科書のMain Acitivityの学習を通して、パートナーとやりとりができるかどうかを評価する。						
主体的に学習に取り組む態度 各活動において、学習した内容を積極的に使おうとする。間違いを恐れずに発言したり、積極的に質問をしたりする。			主体的に学習に取り組む態度 授業態度、提出物、小テスト パフォーマンステスト 間違ふことを恐れずに、対話をしているか、うまく言えないことがあっても別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして対話を継続しようとしているか、またあいづちを打ったり質問をするなどして、相手の話に関心を持って聞いているか、について観察して評価する。						
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	Lesson 1		・ 予定、意図、確信、希望・願望を表す表現の用法が理解できる。						
	Lesson 2		・ 情報化社会、スマートフォンを題材とした英作文に取り組む。						
	Lesson 3		・ 好き・嫌い、得意・不得意、個人的感想を表す表現の用法が理解できる。						
	Lesson 4		・ 健康、仕事・雇用の分野に関する英作文に取り組む。 ・ 提案・助言、必要性・義務、勧誘、受諾・辞退を表す表現の用法が理解できる。 ・ 環境問題、言語・文化の分野を取り扱う英作文に取り組む。 ・ 依頼、要請、許可を表す表現の用法が理解できる。 ・ 教育、コミュニケーションを題材とした英作文に取り組む。						
2学期	Lesson 5		・ 感謝、祝福・喜び、同情、心配・懸念を表す表現の用法が理解できる。						
	Lesson 6		・ 読書、旅をテーマにした英作文に取り組む。						
	Lesson 7		・ 苦情、謝罪、譲歩を表す表現の用法が理解できる。 ・ 外国人観光客、自然・天候に関する英作文に取り組む。						
	Lesson 8		・ 時間的順序、空間的配列・方向、数量、方法・様態を表す表現の用法が理解できる。 ・ 生物、化学分野を取り扱った英作文に取り組む。 ・ 人物や事物に関する描写・説明を表す方言の用法が理解できる。 ・ 社会問題、自分の人生を題材とした英作文に取り組む。						
3学期	まとめ		3年間で学習した文法項目や構文をもとに、英作文に取り組み自分の伝えたいことを表現する。						

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】3学年理系および文系 3年1月考査は実施しないこととする。
------------	--

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】３学年国際教養コース ３年１月考査は実施しないこととする。
------------	--

履修条件・ 注意事項等	・毎回の復習が求められる。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年文系および国際教養コース選択者【評価母集団】3学年文系および国際教養コース選択者 3学期（1月）考査は実施しない。
----------------	--

履修条件・
注意事項等

・毎回の復習が求められる。
【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2
【評価母集団】3学年文系および国際教養コース選択者**【評価母集団】**3学年文系および国際教養コース選択者
 3学期（1月）考査は実施しない。

履修条件・ 注意事項等	ALTと合同で授業を行い、フランス語でのコミュニケーション活動を行う。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】3学年選択者（文系・国際教養コース） 3年1月考査は実施しないこととする。
----------------	---

教科	外国語	科目	フランス語Ⅱ	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	LAC
教科書・副読本		『Adosphere Niveau!』（アシェット・ジャポン）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 フランス語で書かれた文章を読み、フランス語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きを理解するとともに、実際にフランス語でコミュニケーションを図ることができる技能を身につける。						知識・技能 定期考査 小テスト			
思考力・判断力・表現力 フランス語で書かれた文章を読み、概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を的確に理解し、適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。						思考力・判断力・表現力 定期考査 小テスト グループワーク プレゼンテーション			
主体的に学習に取り組む態度 フランスやフランス語圏が抱える課題について探究し、その背景にある文化への関心をより深めた上で、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						主体的に学習に取り組む態度 授業態度 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	自分が好きなことと嫌いなことを言う 自分の得意なスポーツについて話す 目的地までの道を尋ねる		- フランス語語彙小テスト - フランスの文化について知り、自己の意見をまとめる - フランス語で書かれた実用的な文章を読む - 自分の好きなもの、嫌いなものを考え、それをフランス語で伝える - 自分の得意なスポーツについて考え、それをフランス語で発表する - 目的地までの道順の尋ね方、教え方を学習する。実際に、本校の最寄り駅である阪急逆瀬川駅周辺の地図を用いて、フランス語で実演を行う						
2学期	提案の方法、提案の承諾、拒否の仕方 休暇の計画を立てる		- フランス語語彙小テスト - フランス語を公用語とするフランコフォニーの国々の文化について知り、自己の意見をまとめる - フランス語で書かれた実用的な文章を読む - 提案をする方法、提案の承諾、提案の拒否の仕方を学習し、フランス語でロールプレイを実演する - 自分の長期休暇中の予定を立て、フランス語でまとめる。スライドにまとめ、発表する						
3学期	まとめ		1年間の授業を通して、フランスとフランス語圏の文化社会について新しく発見したことをまとめ、フランス語で発表する						
履修条件・注意事項等		ALTと合同で授業を行い、フランス語でのコミュニケーション活動を行う。 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】 3学年選択者（国際教養コース） 3年1月考査は実施しないこととする。							

履修条件・ 注意事項等	ALT と合同で授業を行う。ペアワーク、グループディスカッション、発表等の活動に積極的に参加することが求められる。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 3：4：3 【評価母集団】3 学年選択者（国際教養コース） 定期考査は行わず、授業内の活動や提出物で成績を算出する。
----------------	--

教科	家庭（専）	科目	保育基礎	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本			保育基礎（実教出版）						
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。 保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。 思考力・判断力・表現力 子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見付け、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫、創造する能力を身に付けている。 主体的に学習に取り組む態度 子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。						知識・技能 定期考査・提出物など 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物・討議・発表など 主体的に学習に取り組む態度 定期考査・授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	1 章 子どもの保育 保育の意義 保育の環境 4 章 子どもの文化 子どもの遊びと発達		・乳幼児期の発達の重要性を知る。 ・乳幼児期の生理的特徴を知る。 ・家庭保育・集団保育の意義と形態・保育内容について知る。 ・乳幼児の生活習慣や遊びなどについて理解する。 ・保育検定3・4級受験（絵本の読み聞かせ、造形表現） 定期考査・個人製作および授業への取り組みにより評価を行う。						
2 学期	2 章 子どもの発達 3 章 子どもの生活		・運動機能・感覚機能・情緒な身体と心の発達をとらえる。 ・愛着関係の形成過程について学び、人間関係の広がりについて考える。 ・乳幼児の健康管理や事故防止について知る。 ・保育所への訪問実習について、内容を企画し、運営を行う。 定期考査・集団製作および授業への取り組みにより評価を行う。						
3 学期	5 章 子どもの福祉		・子どもが健全に育つために必要な支援を考える。 定期考査・個人製作および授業への取り組みにより評価を行う						
履修条件・注意事項等			実習費 1500 円程度（保育実習保険代・保育検定受験料を含む）が必要 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3 学年選択者（文系、国際教養コース） 3 年 1 月考査は実施しないこととする。						

履修条件・ 注意事項等	実習費 5000 円程度が必要 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】3 学年選択者（文系、国際教養コース） 3 年 1 月考査は実施しないこととする。
----------------	--

教科	情報 (専)	科目	情報の表現と管理	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本			情報の表現と管理（実教出版） 新「情報」活用テキスト+別冊（実技・実習編）+学習ノート（P検協会）						
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力を養う。 思考力・判断力・表現力 必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。						知識・技能 課題製作 思考力・判断力・表現力 課題製作 発表 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み 課題製作			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	情報社会と情報の表現		・多様化する情報の表現と、それに伴うコミュニケーションの変化を理解する。 ・メディアの種類と特性を理解する。 ・情報通信とコンピュータについて大まかに理解する。 ・情報通信端末の種類と役割を大まかに理解する。 ・映像表現の発達を社会にあるものと関連付けて理解する。 ・その他の表現技術の存在を理解する。						
2 学期	メディアの特性とその表現		・わかりやすい文書の作成技法を身に付ける。 ・文書の基本的な構成を理解する。 ・ワープロソフトを利用して、ポスター、定型文書、報告書などをわかりやすく作成する。 ・図解の意義、図解の種類と特性、活用場面を理解し、実際に図解を行う。 ・音声および音楽データの特性を理解する。 ・デジタル画像の基礎と特性を理解する（画素、解像度）。 ・色の表現と圧縮について理解する。 ・映像の種類と特性を理解する。						
	データサイエンスとデータの表現		・データサイエンスとは何かを知り、データ分析の流れを理解する。 ・データサイエンスの手法を知り、表計算ソフトなどで処理を行う。						
3 学期	情報の発信		・発想法と情報を整理する方法を理解する。 ・プレゼンテーションの意義と活用例を理解し、実際にプレゼンテーションを行う ・全体の流れ（内容の決定、発表準備、リハーサル、本番、フィードバック）を理解する。 ・聞き手調査と分析、情報収集を行い、内容を決定する。 ・プランニングシート、プログラムシートを作成し、プレゼンテーションプログラムを立案する。 ・提示資料、配布資料、補助資料の作成を行う。 ・話し方、態度、発問や応答、服装、会場確認を考え、プレゼンテーションのポイントを理解する。						
履修条件・注意事項等			【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝2：5：3 【評価母集団】 3学年選択者（文系・国際教養コース） ※1月考査：実施しない						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 5：3：2 【評価母集団】3 学年選択者（理系・文系・国際教養コース） ※ 1 月考査：実施しない。
----------------	---